

# アルゴリズムとデータ構造III 3回目:10月22日

構文解析 CYK法

授業資料 http://ir.cs.yamanashi.ac.jp/~ysuzuki/algorithm3/index.html

	授	業の予定(中間試験まで)			
1	10/01	スタック (後置記法で書かれた式の計算)			
2	10/15	文脈自由文法,構文解析,CYK法			
3	10/22	構文解析 CYK法			
4	10/29	構文解析 CYK法			
5	11/12	構文解析(チャート法), グラフ(ダイクストラ法)			
6	11/	構文解析(チャート法), グラフ(ダイクストラ法, DPマッチング)			
7	11/	グラフ(DPマッチング, A*アルゴリズム)			
8	11/19	グラフ(A*アルゴリズム), 前半のまとめ			
9	11/26	中間試験			
10/08, 11/05の代わりの補講日は後日相談					

# \_ 授業の予定(中間試験以降)

	10	12/03	全文検索アルゴリズム (simple search, KMP)
	11	12/10	全文検索アルゴリズム(BM, Aho-Corasick)
	12	12/17	全文検索アルゴリズム (Aho-Corasick), データ圧縮
	13	01/07	暗号(黄金虫, 踊る人形) 符号化(モールス信号, Zipfの法則, ハフマン 符号)テキスト圧縮
	14	01/14	テキスト圧縮 (zip), 音声圧縮 (ADPCM, MP3, CELP), 画像圧縮(JPEG)
	15	01/21	期末試験



### 本日のメニュー

- ■構文解析
  - 構文木(急いで走る一郎を見た)
- CYK法
  - CYKアルゴリズムの説明
  - 解析例(急いで走る一郎を見た)

# 4

### 構文解析 CYK法

文脈自由文法で生成された文から自動的に構 文木を生成する。

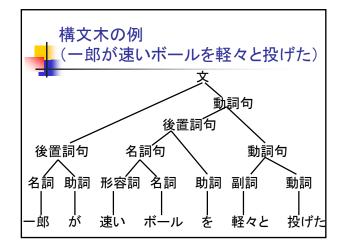
# 構文解析とは(Wikipediaより)

- ある文章の文法的な関係を説明すること(*parse*)。計算機科学 の世界では、構文解析は字句解析(*Lexical Analysis*) とともに、 おもにプログラミング言語などの形式言語の解析に使用される。 また、<u>自然言語処理</u>に応用されることもある。
- <u>コンパイラ</u>において構文解析を行う機構を<u>構文解析器</u>(Parser) と呼ぶ。
- 構文解析は入力テキストを通常、木構造のデータ構造に変換し、その後の処理に適した形にする。字句解析によって入力文字列から字句を取り出し、それらを構文解析器の入力として、構文木や抽象構文木のようなデータ構造を生成する。



### 構文解析アルゴリズム

- 入力文(記号列)が与えられたとき、文法 によってその文を解析し、その構造を明ら かにする
- 代表的な構文解析アルゴリズム
  - CYK法
  - チャート法
  - アーリー法
  - LR法





# \_CYK(Cocke-Younger-Kasami)法

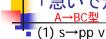
- ボトムアップアルゴリズム
- ■扱える文法
  - チョムスキーの標準形
    - A→BC (2分木)
    - A→a
- CYK表
  - 構文解析の途中経過を保持するための表

## CYKアルゴリズム

- チョムスキーの標準形で表される文脈自由文法 を対象とした構文解析法
- チョムスキーの標準形
  - $A \rightarrow BC$  ( $A,B,C \in Vn$ )
  - $A \rightarrow a (A \in Vn, a \in Vt)$

X→aBはチョムスキーの標準形ではないが X→AB, A→aに分解できる X→ABCはチョムスキーの標準形ではないが X→AY, Y→BCに分解できる

# チョムスキーの標準形の例 「急いで走る一郎を見る」



- (9) adv→急いで
- (2) s→adv vp
- (10) n→一郎

- (3) vp→pp v
- (11) p→を
- (4) vp→adv v
- (12) v→走る
- (13) v→見る
- (5) np→vp n
- (6) np→v n
- (7) pp→np p
- (8) pp→n p

